

II 彩の国資源循環工場の運営状況にみる効果と課題

資源循環工場の整備と操業後1年間の運営状況について、資源循環工場の3つの「政策目標」にそって、効果と課題を検証しました。

1 民間の活用によるリサイクルの促進

廃棄物の適正な処理とリサイクルの促進は、社会全体で取り組むべき課題となっています。しかし、産業廃棄物は、民間の経済活動から発生するものであり、その処理については、経済原理の中で解決されるのが望ましいものです。また技術の進展や廃棄物の需給動向への柔軟な対応などが必要であり、民間の知識やノウハウを生かした運営が効率的・効果的と考えられます。

このことから、資源循環工場では、民間の活力を生かした運営により、廃棄物問題の解決とリサイクルを促進することを目指しています。

(1) 資源循環工場のリサイクルの状況

資源循環工場には、民間のリサイクル施設が立地しており、平成18年6月から、すべての施設で操業を開始しました。

【施設の概要】

リサイクル施設 (企業名)	受け入れ廃棄物 (原料)	主な製品	受入能力 (日量t)	再資源化 率(%)
サーマルリサイクル (オリックス資源循環㈱)	廃棄物全般	発電、スラグ、 金属等	450	100
総合リサイクル (㈱エコ計画)	廃棄物全般	固形燃料、肥料 等	594	90
廃プラ・生ごみリサイクル (㈱環境サービス)	廃プラ・生ごみ	固形燃料・堆肥	57	100
廃蛍光管リサイクル (㈱ウム・ヴェルト・ジャパン)	廃蛍光管	ガラス、金属等	11	100
生ごみ・食品リサイクル (㈱アイル・クリーンテック)	食品残さ	堆肥	108	100
建設廃棄物リサイクル (埼玉環境テック㈱)	建設廃棄物	建設資材等	588	87
焼却灰リサイクル (㈱埼玉ヤマゼン)	焼却灰	人工砂	288	90
廃発泡スチロールリサイクル (広域廃プラスチックリサイクル協同組合)	発泡スチロール	原料ペレット	6	100
汚泥等リサイクル (よりのコンポスト㈱)	下水汚泥等	肥料	200	100